

第15回「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」の開催について

記者各位

当社(社長:木村 康)は、第15回「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

2009年7月の「ラクイラ・サミット」では、2050年までに先進国全体で世界全体の温室効果ガス排出量を80%またはそれ以上削減するとの国際的な合意が形成されました。

現在、世界各国でCO2の排出抑制に向けた様々な技術開発が進められていますが、長期的なCO2削減目標の達成に向けたひとつの答えとして、水素を利用した燃料電池によるエネルギー供給が注目されています。

今回のシンポジウムでは、「2050年 CO2排出80%削減へ ～燃料電池・水素エネルギーの可能性～」をテーマに、「産・学・官」各分野から専門家を招き、それぞれの視点から今後のエネルギーのあり方についてパネルディスカッションを行います。

本シンポジウムは、毎年、エネルギーに関する問題をテーマとして開催し、今年で15回目となります。これまで大変多くの方にご好評をいただいております。本年も多数の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

記

1. 開催日時: 2010年11月2日(火)
開場13時30分、開演14時00分、終了予定16時30分
2. 開催場所: 東京国際フォーラム ホールC (東京都千代田区丸の内3-5-1)
3. テーマ: 「2050年 CO2排出80%削減へ
～燃料電池・水素エネルギーの可能性～」
4. プログラム: (1)主催者挨拶
木村 康 (当社代表取締役社長)
(2)パネルディスカッション
■パネリスト(50音順)
枝廣 淳子 (環境ジャーナリスト)
小吹 信三 (トヨタ自動車株式会社 専務取締役)
細野 哲弘 (資源エネルギー庁 長官)
松村 幾敏 (燃料電池普及促進協会(FCA)代表理事、当社顧問)
村上 敬宣 (九州大学 理事・副学長)
■コーディネーター
関口 博之 (NHK解説委員)
※出演者に関しましては、諸事情により変更になる場合があります。
5. 主催: JX日鉱日石エネルギー株式会社、株式会社NHKエンタープライズ、
財団法人日本エネルギー経済研究所、財団法人地球環境産業技術研究機構
6. 参加料: 無料
7. 申込方法: ウェブサイト(<http://www.energysymposium.jp>)からお申込いただけます。

以上